



阪神北広域こども急病センター ニュースレター



こどもの怪我！こんなとき、どうする？



季節はすっかり秋となりました。秋は運動会に遠足と楽しい行事がたくさんある季節です。その一方で体調を崩しやすい季節でもあります。子どもたちが元気いっぱいにご遊べるよう体調管理に努めましょう。

頭を打った時のお話

毎日お父さんと接していると、「転んだ！」「落ちた！」「ぶつかった！」と、よく小さな事故が起こります。

こどもは危険を察知する能力が不十分で、体の割に頭が大きく、転んだときに手が出なかったりするので頭をよく打ちます。頭を打った後、特に普段と変わりなければ心配ない場合がほとんどですが、中には医療機関を受診したほうが良い場合もあります。注意すべき症状と対処方法を知っておきましょう。



▶ たんこぶができたら大丈夫？



よく聞く「たんこぶがあるから大丈夫」は本当に大丈夫なのでしょうか？

たんこぶがあるということは毛細血管(小さな血管)レベルの出血があったということなので、大きなたんこぶはそれだけ強打したということになります。たんこぶがある・なしでは「なし」の方が心配ない場合が多いです。

硬いたんこぶ

頭を打ったところに赤いポツポツができたりその場所が硬く腫れている、これが「たんこぶ」、医学用語で「皮下血腫」(皮下にできた血の塊)と言います。皮下組織の中には小さな血管がたくさんあり、そこが切れてポツポツと赤い発疹ができます。そして出血が増えると塊になって「たんこぶ」になります。たんこぶは数週間で吸収されます。

ぶよぶよ たんこぶ

「ぶよぶよたんこぶ」は医学用語で「帽状腱膜下血腫(ぼうじょうけんまくかけしゅ)」と言います。

これは頭蓋骨のうえを覆っている薄い膜「帽状腱膜」と「頭蓋骨」の隙間に血が溜まっている状態を言います。

この場所にも小さな血管がたくさんあり、血は固まらずに溜まっていきます。結果ぶよぶよたんこぶとなり、その場所が広がることもあります。ぶよぶよたんこぶも数週間あれば吸収され治っていきますが、日中に一度は受診をしておく方が良いでしょう。

▶ 頭を打ったらどうしたらいいの？病院は？

頭を打ったときは、まず意識があるかを確認します。

お話しができる子は、目を開けて話せるか？乳児の場合は呼びかけて視線が合うか？

頭を打って泣いたけれどすぐに泣き止んだ、たんこぶができていない、またはあっても小さく、泣き止んだ後は普段と様子が変わらない場合は、症状の変化に注意しながらお家で様子を見ましょう。

乳児の観察ポイントは機嫌やミルクの飲み具合、周囲に対する注意や関心が充分あるかなどです。



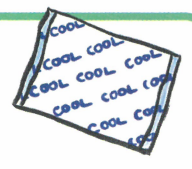
▶ 頭を打った時の応急処置

▶ 眠ってしまったら？

子どもは泣き疲れて眠ってしまうことがあります。頭を打って泣き疲れた後に眠ってしまった場合は、保護者の目の届く所で静かに寝かせましょう。ただし、途中で状態が変わる場合がありますので、一度は起こして意識を確認しましょう。その他、息が乱れていないか、嘔吐をしていないかなど観察しましょう。



裏面へ続く



▶ 痛い時、腫れはどうしたらいいの？

打った場所は数日痛みが続くことがあります。傷口がなければ保冷剤などで冷やしてあげましょう。

▶ いつまで様子を見る？

頭を打ってから1日は安静に過ごしてください。その後48時間は症状の出現がないか注意して生活しましょう。時間の経過とともに腫れがひどくなる時は、脳神経外科を受診したほうが良いでしょう。

➔ 救急処置が必要なとき



一つでもチェックがあれば脳神経外科の受診が必要

- 一時的でも意識をなくした、名前を呼んでも返事がない、元気がなくぼんやりしていてすぐに眠ってしまう
- 呼吸が乱れている時（速い呼吸、浅い呼吸、苦しそうななど）
- 吐き気や嘔吐が起こる。気分が悪く食事をとろうとしない
- たんこぶでは説明のつかない頭痛を訴える
- 会話がおかしい（会話の内容が混乱している、健忘がある）
- けいれんやひきつけが起こる
- 片側の手足の動きが明らかに悪い、しびれ（麻痺）を訴える
- はじめ軽度だった上記症状が次第に悪化する
- 意識ははっきりしていても傷口からの出血が多い



➔ 普段からの心がけ



子どもの事故の内容は年齢によって異なります。いつ頃どんな事故が起こりやすいか知っておくことは、事故を予防するうえで大切です。子どもの行動を「まさか…」と思わず、子どもの目線や発達段階、子どもの関心にあわせて、お家の中に危険なものがないか確認しましょう。

また、日頃から「危険なこと」「やってはいけないこと」を子どもの理解度に合わせて伝えましょう。

電話相談をご利用ください

◆阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981



☎ 相談受付時間 ☎

平日	午後 8 : 00 ~ 翌朝 6 : 30
土曜日	午後 3 : 00 ~ 翌朝 6 : 30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 9 : 00 ~ 翌朝 6 : 30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目	小児科（15歳未満、中学生まで） ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平日	午後 7 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 8 時から
	土曜日	午後 2 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午後 3 時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前 8 : 30 ~ 翌朝 6 : 30 診察開始は午前 9 時から



阪神北広域こども急病センター
〒664-0015 伊丹市昆陽池 2 丁目 10 番地
<http://www.hanshink-kodomoqq.jp/>

TEL : 072-770-9988
FAX : 072-770-9905